| 学校番号 | T3005 |
|---|---|

平成31年度　地歴科

| 教科 | 地歴 | 科目 | 地理A | 単位数 | 1単位 | 年次 | 3年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高校生の地理A （帝国書院） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界の国々や地域を文化や歴史を通じて理解し、グローバル化が進む世界の結びつきについても理解しましょう。その上で日本の果たすべき役割について考えましょう。

2　学習の到達目標

世界の地域や国の特徴を文化や歴史を踏まえて理解する。
グローバル化が進む世界で日本の役割について考える。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

| 観点 | a：関心・意欲・態度 | b：思考・判断・表現 | c：資料活用の技能 | d：知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 地図を正しく読み取る力をつけ、世界の地域や国々の特徴を総合的に理解できる。 | 世界の地域や国々の抱える諸問題について歴史的、地理的観点から考察し、自らの考えを表現できる。 | 地図や表、グラフを読み取る力をつけるとともに、それらを用いて表現できる。 | 世界の地域や国々の特徴を理解し把握するとともに、グローバルな観点でそれらを関連づけることができる。 |
| 評価方法 | 授業プリント<br>レポート<br>定期考査<br>観察 | 授業プリント<br>レポート<br>定期考査<br>観察 | 授業プリント<br>レポート<br>定期考査<br>観察 | 授業プリント<br>レポート<br>定期考査<br>観察 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

| 月 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 4･5 | 3章　世界の諸地域の生活・文化 | ①アメリカ合衆国<br>②ラテンアメリカ | | ○ | ○ | | cアメリカ大陸の歴史も踏まえ、アメリカ合衆国とラテンアメリカ諸国の地理的特徴を理解する。<br>b諸課題について考察する。 | 授業プリント<br>レポート<br>観察 |
| 6･7 | 4章　地球規模で広がる課題 | ①世界の人口問題<br>②世界の食料問題 | ○ | ○ | | | a世界の人口問題と食糧問題について現状の理解する。<br>b将来予測に伴う課題の解決について考察する。 | 授業プリント<br>レポート<br>定期考査<br>観察 |
| 9･10 | | ③世界の資源エネルギー問題<br>④世界の環境問題 | | ○ | | ○ | b世界の資源エネルギー問題と環境問題について理解する。<br>dその解決方法について考察する。 | 授業プリント<br>レポート<br>定期考査<br>観察 |
| | | | | | | | | |
| | | 1単位につき半期で終了 | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

※表中の観点について　　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
c：資料活用の技能　　d：知識・理解

※年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）ですべての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている